

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Orange青山		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日	～	2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 9	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2024年 12月 11日	～	2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2024年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い専門性と支援内容の満足度 専門知識などについて高く評価をいただいています。支援によって学校の人的・時間的厳しさが軽減されるなど、実際の成果についても確認されています。	職員が高い専門性を持ち、最新の知見やスキルを活用していることが要因と考えられます。事業所内研修や専門的スキルを持つ職員が支援に当たるようにしております	今後職員の専門スキルを定期的にアップデートするための研修プログラムを作成し、継続的に実施する必要があると思います。
2	利用者の状況把握と個別対応の徹底 利用者の状況を丁寧に把握した上で、取り入れやすい具体的な助言を行っていると感じていただいています。訪問先の施設や保護者のニーズに合わせた計画作成や支援実施ができていることを評価していただいております。	支援計画(個別支援計画)に訪問先施設や保護者の意向を反映させている点が大きいことが再確認できました。	訪問先施設や保護者との事前ヒアリングをさらに充実させ、より個別化された支援を提供してまいります。
3	支援の満足度の高さ 様々な取り組みにより満足度を非常に高く評価していただくことができました。	保護者様、訪問先施設様のニーズと具体的な支援についてのアドバイスと、何より信頼関係と感謝の気持ちを忘れないで支援に当たれたことが大きいと思います	今後もこの評価を継続できるように、今の思いや気持ちを忘れずに訪問支援を行っていきたくと思っています。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制の不足	現在の職員数では、増加する支援ニーズに対応しきれいていません。	人材不足を補うため、支援員の増員やスキルアップを進めていきます。また、他の訪問支援事業所と連携し、ノウハウを共有します
2	訪問支援事業の認知が地域や施設で低く、必要な人に届いていません。	まだ保育所等訪問支援を行っている事業所が少なく認知されるに至っていないと思われます	地域や学校関係者に事業の意義や効果を伝えていきたいと思っています ホームページ等での発信を定期化し、支援の実績や活動内容を広く共有していきたいと思っています
3	保護者への間接的支援はできても直接的なサポートが難しいです。	保護者への支援が訪問支援の活動範囲外になりがちで、十分なサポートが難しいように思います	オンラインでのペアレントトレーニングや、保護者が手軽に利用できる支援教材を作成したり、家族支援の提供を行える体制を作りたいです。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援 Orange青山

公表日 2024年 1月 22日

利用児童数 2024年 12月 31日 回収数 9人中6人

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6(100%)					非常に高い評価をいただいておりますので、継続していきたいと思います。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6(100%)					"
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6(100%)					"
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6(100%)					"
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6(100%)					"
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6(100%)					"
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6(100%)					"
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6(100%)					"
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6(100%)					"
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6(100%)					"
保護者 への 説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6(100%)					"
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6(100%)					"
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6(100%)					"
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5(83%)			1		研修会などの情報共有につきましては次年度から試験的に行えればと思っております
	16 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6(100%)					非常に高い評価をいただいておりますので、継続していきたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6(100%)					"
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6(100%)					"
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6(100%)					"
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6(100%)					"	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6(100%)					"	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6(100%)					”
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6(100%)					”
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6(100%)					”
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6(100%)					”
	26	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6(100%)					”
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6(100%)					”
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6(100%)				子ども自身も支援があると助かると言っております	ありがとうございます。これからもお子さまの支えになれるよう支援していきたいと思います
	28	事業所の支援に満足していますか。	6(100%)				学校での様子を詳しく教えていただいてありがとうございます。	ありがとうございます。結果に満足せず、今後もより良くなるよう改善を進めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 1月 22日

保育所等訪問支援 Orange青山

利用児童数

2025年 1月 22日現在 9名 回収数 6施設/8施設中

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6(100%)			いつもこちらの状況を丁寧に把握してから助言して下さるので大変参考になっております。	まずはご家族とご本人と学校の先生方のご意見をお伺いし状況確認からはじめています。ありがとうございます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6(100%)			学校の職員に研修していただきたいと思うくらい専門的な知識、技能をお持ちだと思います。	ありがとうございます。現状に満足せず向上を目指していきたいです
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	6(100%)				非常にありがたいご意見をいただき、ありがとうございます。この結果に満足せずさらなる向上を目指していきたいです
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6(100%)			校内の支援の人的・時間的厳しさが支援のおかげで解決しました。	学校現場の厳しき、訪問支援の中で痛感しております。現状に合わせた支援のアドバイスや直接支援での行動改善を心がけております。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6(100%)				非常にありがたいご意見をいただき、ありがとうございます。この結果に満足せずさらなる向上を目指していきたいです
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
訪問支援のおかげで子供たちが安心して学ぶことができている。教員たちがこの事業を知らない現状があるため、もっと周知されればよいのにとお思います。 事業所での様子や課題を共有でき、アドバイスを学校でも取り入れることができました。 いつも専門的なご助言をいただいて助かります					保育所等訪問について、まだ行っている事業所も多くなく周知が不足している現状です。当事業所だけでは手が回らないほどです。今後、もっとサービスを提供する事業所が増えていき、周知徹底が図れるようになればと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 Orange青山			公表日	2025年 1月 22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		児童に合わせ必要な教材などを持っていくこともあれば、学校の教材を使わせていただくことも多いです。(跳び箱など)	学校で困っておられる場合は、その場で教具を使わせていただく方が実践的だと感じています。その後事業所での練習などでも同じ教材を使います。このまま進めたいと思っています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		常に複数の職員で訪問支援に当たれるようにしています	今後とも多めの配置で支援に当たります。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		週に1度会議を行ったり、個別支援計画、専門的支援計画を振り返りながら支援、目標設定を行っています。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表でのご意見につきましては、即時改善をはかることができるようにしています。回収方法についても、できるだけ匿名性を確保した声が届くようにしています	匿名性の高い方法にもかかわらず保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週に1度の会議やビジネスチャット、定期的な経営者面談、施設長面談を行い意見のくみ上げを行っています	今後とも従業員の意見を積極的に把握していきたいと思っています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	△		外部評価として、学校や保育園さんへ行かせていただき、そこでアンケートで評価をいただいております。	第三者評価については訪問支援であるため考えてもいませんでした。今後考えていきたいと思っています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外での研修参加のみではなく法人内でも新任研修・中堅職員研修・リーダー研修に加えて、自由参加の勉強会を行い、常に知識を更新しています。	研修のますますの充実を図っていききたいと思います
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		アセスメントをもとに計画を立て、事業所全員で確認をしてから、仮作成。保護者様に確認していただき作成しております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の作成に当たっては事業所全員に確認してもらい、意見を求めたり共通理解をしたうえで計画を作成しております	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		支援に入る前に保護者様、担任の先生、ご本人からの聞き取りを行い、意向を盛り込んでおります。	訪問先施設様より非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画につきましては法人内で周知徹底しております	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じ標準化された評価ツール(WISC-Vと関連性のある)のみではなく、日常の行動観察や記録などを行うケース記録を作成していますが、全児童が対象ではありません。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえた支援内容を設定しております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画につきましては法人内で回覧し、全職員に周知徹底しております	今後とも法人内で回覧し、全職員に周知徹底しております
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日支援に入る職員と綿密な打ち合わせを行ってから直接支援に入らせていただいております	打ち合わせや連携が鍵になる支援です、今後も積極的に行いたいと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後も同様に、次回の訪問支援に向けた反省や気づきの共有を行っております	こちらも、振り返りや連携は非常に重要であるため、今後も積極的に行いたいと思います。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念や教育方針など、こちらで調べたりお話を伺いし、もちろん尊重して支援に当たらせていただいております	訪問先施設の尊重は非常に大切です。ただでさえ訪問先を結果的に荒らしてしまうことになりかねない外部の人間であることを自覚し、これからも謙虚に支援を行います
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回必ず記録を作成しております	記録作成は必ず行います。記録のみではなく保護者様に対しての訪問記録もできるだけ丁寧に作成しております	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度以上、必ずモニタリングを実施しております	これからも定期的にモニタリングを行います	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		訪問支援員の数が多くないため、必ず参加できるように努めております	今後も訪問支援員の数が多くないため、必ず参加できるように努めております
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		基本的に障害福祉、保育、教育との連携を密に行いながら行うサービスだと理解しておりますので、そのための体制は整えております	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		今年度から保育所等訪問をはじめたため、その対象となった児童がまだありませんが、必要な場合は相互理解を図るつもりです	必要な場合は相互理解を図るつもりです
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		法人内でのアドバイスで解決していることが多く、たの専門機関への助言はまだ求めたことがありません	今後検討していきます
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	参加しておりませんが、今年から参加予定です	今年から参加していきたいと思います。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問支援という特性上、送迎でのお話ができない分、機会を見つけたらお電話や詳しい活動報告などで共通理解をすすめております	月に2度しかない訪問支援ですので、どのように共通理解を進めていくかは常に考えながら行っています
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		こちらも訪問支援という特性上、送迎でのお話ができない分、機会を見つけたらお電話などを中心におこなっております	月に2度しかない訪問支援ですので、どのように情報提供を進めていくかは常に考えながら行っています
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規定と重要事項説明にて説明させていただいております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回訪問時に必ず説明させていただいております	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		10年以上保育士や専門職員が連携し、お子様の最善の利益とご家族の意見を踏まえ計画書を作成しております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者様に確認していただき同意のサインをいただいております。支援の提供を行っております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に一度の面談により直接聞き取りを行っています。それ以外にもお電話でお話をお受けした際には、積極的に助言をさせていただきます。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	まだ実施したことがありません	実施したことがありません。現状はニーズをみながら実施するか考えていきたいと思ひます
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて説明させていただいております。申入れのあった際には迅速な対応に努めております。	今後とも申し入れのあった際には迅速な対応に努めております。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページや予定につきましては毎月更新しておりますとともに、月に一度通信を発行しております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については鍵付き書庫にて保管されており、必要時のみの使用としています。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝え方の工夫や情報伝達の方法について、日々の申し送りに加え、メールや電話、連絡ノートでのやり取り、写真付き連絡帳で活動の様子をお伝えするなど、情報伝達については徹底しております	今後も徹底していきます
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		次年度入学するの障害を持つ児童への対応など相談をいただいた場合は積極的に助言をさせていただきます	利用児童のみではなく訪問先施設の相談を解決するのも保育所等訪問支援の仕事だと思っておりますので、今後も相談していただければお答えします
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先の状況によっては書面になることもありますが、訪問先の状況に合わせて行わせていただいております。	訪問後の話し合いは最低限必要ですが、学校など先生方のスケジュールもある場合は柔軟にお伝えする方法を考えていきます
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		できるだけ詳しく、状況や課題がわかるように書面で説明をさせていただきます	今後も説明について丁寧に行っていきたいと思ひます
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については鍵付き書庫にて保管されており、必要時のみの使用としています。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		信頼関係を築くことを第一に支援を行わせていただいております。信頼関係がなければどれだけ正しい言葉でも伝わらないと思っています。	信頼関係がないと良い支援ができません。そのことについては常に意識しておきたいと思っています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		Orange青山には各種マニュアルが備え付けられており、定期的に研修を行い従業員に周知徹底しております。必要であればいつでもご覧いただけます。また、訪問支援の性質上、職員のみでの訓練です	児童の参加の方法がわからないため、やり方を調べていきたいと思っています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的な研修と訓練を行っております。直近では12月にも行いました。こちらも職員のみでの訓練です	児童の参加の方法がわからないため、やり方を調べていきたいと思っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについて、年1度の研修を行うとともに、ヒヤリハットの事例が起こった場合については全員に目録し、共有し、再発防止に取り組んでいます	今後も継続していきます
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を年に1度行っております。単純な制度の研修のみではなく、虐待がなぜ起こるのか、現場意識と保護者支援の観点から踏み込んだ内容の研修を行っています	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		計画には必ず身体拘束についての一文を入れさせていただき、保護者様に説明もさせていただいております。	保護者、職員とも非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます